

幻想的な景色に思わずため息 夜の川辺にホタル乱舞

早い梅雨入りの影響が心配されていましたが、今年の6月もホタルが幻想的な景色を魅せてくれました。河之内地区では、5月中旬に地元有志の皆さんが表川の川辺を「ほたるの里」として整備しています。訪れた家族連れやカメラマンは、暗闇にひかる黄緑色のホタルの光跡に、思わずため息を漏らしていました。

(撮影場所：河之内地区 表川)



介護現場で働く人の力に 株母恵夢がお菓子を寄贈

新型コロナウイルス感染症の拡大対策への労いを伝えようと、(株)母恵夢(則之内)が市内高齢者施設で働く皆さんに、同社銘菓の母恵夢やベビー母恵夢を寄贈しました。

寄贈を受けた老人保健施設長安の田内桂司施設長は「気持ちがとても嬉しい。職員の励みになります」と感謝を伝えました。



赤い点を目印に苗を植える



KOMEYA 和田丸の皆さん



泥に足をとられながらも

Interview



樋口 あゆさん (横河原出身)

ブレイキンを広めたい

まず母校での素晴らしい機会に恵まれたことに感謝します。子どもたちと自分の好きなブレイクダンスを共有できて、これからはこのつながりを大事にできれば嬉しいと思います。



北吉井小学校で今年も開催 放課後わくわく教室でダンスを楽しむ

感染対策で開催が延期されていた、放課後わくわく教室(主催：生涯学習課)の第1回目が開催されました。北吉井小学校体育館では1年生から4年生約40人が参加。今回は講師にダンスグループ



「HOT EAST CREW」に所属する樋口あゆさんを招き、ダンスのリズムやステップなどを学びました。

足の動かし方に苦戦しながらも、子どもたちの笑顔が弾けました。



先輩から田植えを学ぶ



どろんこ1等賞

西谷小学校で田植え体験授業 「地域の文化を伝えたい」KOMEYA 和田丸

西谷小学校の田植え体験授業に、児童約40人が参加しました。昨年は感染症対策で中止になった田植え体験。1年ぶりに行われた授業ですが、子どもたちは慣れた手つきで苗を植えています。

講師を務めたKOMEYA 和田丸の皆さんは「みんなが米作りの一歩目をはじめてくれた。これから私たちがお米のお世話をするので、姿を見かけたら声をかけてね」と交流を深めていました。

Interview



西谷小学校 6年生 松村 千尋さん (写真左)
6年生 片山 紗綾さん (写真中)
5年生 鶴見 陽向さん (写真右)

久しぶりに入った田んぼは冷たくて、楽しかった思い出が蘇ってきました。美味しいお米ができればいいなと思います。地域の皆さんに感謝したいです。

休館あけて少しずつ戻る日常 いわがらこども館でこあらクラブ開催

感染対策のため臨時休館が続いていた市内施設が6月1日から再開されました。

いわがらこども館（横河原）では、久しぶりのイベント「こあらクラブ」に親子12組ほどが参加し、体操や工作などでふれあい時間を楽しみました。ソーシャルディスタンスを保ちながら楽しむ参加者で、館内は賑やかさを取り戻していました。



義農味噌株式が新商品開発 特産品のはだか麦を使った味噌を紹介

東温市の特産品であるはだか麦ですが、新型コロナウイルスの影響で需要が減少。そんな中、消費を拡大しようと、義農味噌株式（本社：松前町）が新商品の味噌を開発しました。

原材料のはだか麦は100%県内産。同社田中まさし代表取締役社長は「健康志向の皆様にとり商品の。東温市をはじめ県内生産者の安定需要につなげたい」と話しました。



今年も来園者を魅了 花菖蒲園の菖蒲や紫陽花が見頃迎える

5月26日、河之内の花菖蒲園では、開園に向けた園内の整備が行われました。地元有志や地域おこし協力隊員が参加して、草刈りや紫陽花の木の剪定をしました。

コロナ禍で開園が危ぶまれ

る中、例年より早く6月上旬から見頃を迎えました。訪れた人は、色鮮やかな菖蒲と紫陽花のコラボレーションに魅了されていました。

紫陽花は7月上旬まで見頃だそうです。

Interview



近藤 ミヤ子 さん（河之内）

皆さんの協力に感謝

20年前には数えるほどしかなかった花が、今では見渡す限り咲いています。たくさんの人たちに協力してもらって開園することができました。今だけの風景を楽しんでほしいです。

Interview



東谷小学校5年生 河田 幸奈 さん

誇れる地域の偉人

天井の模様が何種類あるかや、林内さんの生い立ちなど疑問に思っていたことを知れました。お金があったら贅沢するところを、他の人のために寄付をする林内さんを誇らしいと思います。



東谷小学校で地域学習 地域の偉人「近藤林内」を知ろう

東谷小学校3年生から5年生の皆さんが、地域の偉人「近藤林内」について調べています。6月1日、惣河内神社を訪れた児童は、宮司の佐伯敦さんから林内さんの功績を教わりました。「林内さんが白

猪の滝や唐岬の滝までの道は林内さんが作りました」と聞いた児童たちは、驚きの声をあげていました。

調べた内容は、1学期の終わりに“近藤林内新聞”としてまとめるそうです。

五穀豊穡を願って 河之内音田で御田植祭

河之内の音田地区で、御田植祭が行われました。五穀豊穡を願った毎年恒例の行事で、主催した穂田琉園主の坂本憲俊さんは「今年はコロナ禍で規模を縮小して実施した。無事に開催できてよかった」と安堵の表情を浮かべました。

参加した子どもたちは「難しかったけれど頑張って手で植えた。また来年もやりたい」と話してくれました。



南吉井小学校5年生が特別授業 計画を立てておこづかい帳をつけよう

6月14日、南吉井小学校5年生が家庭科でおこづかい帳のつけ方を学びました。1カ月をすくろくに見立てたゲーム形式の授業では、止まったマスによって買い物イベントが起こります。児童は提示された商品を見て、長所や短所を考えながら、グループや個人で何をかうか決めていました。講師を務めた武田咲枝さんは「お金の役割を学んで、考える力を養ってほしい」と伝えました。